



文理探究科通信

長崎県立猶興館高等学校 第4号 令和8年3月1日発行

文理探究科は大学進学を目指したカリキュラムで、2年生からは希望する進路に応じて人文科学探究コース（文系）と理数科学探究コース（理系）に分かれます。また、大学や企業との連携ではより発展的な最先端分野の研究に触れることができます。また、大学だからこそ経験できる、専門的な機器などを用いた実験を通してより深い学習ができます。探究活動では、問題解決能力を高め、校内での発表会や県大会での発表を通して、レポート作成やプレゼンテーション能力を身につけることができます。

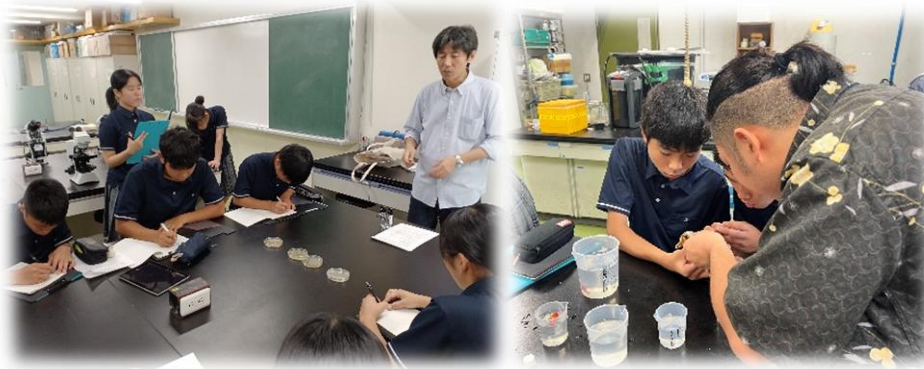
今年度後期（8月～3月）の文理探究科の主な活動を紹介します♪

8月 長崎国際大学 薬学部研修(2年)

口腔内崩壊錠の調整法を学び、作成しました。計量や圧縮のわずかな差で仕上がりが大きく変わることを体感できました。
漢方薬の調整体験では、漢方薬の効能についても学びました。2日間の研修では薬学部の魅力についての説明をうけ、薬学に対する興味が強くなりました。



長崎大学 水産学部研修(1年)

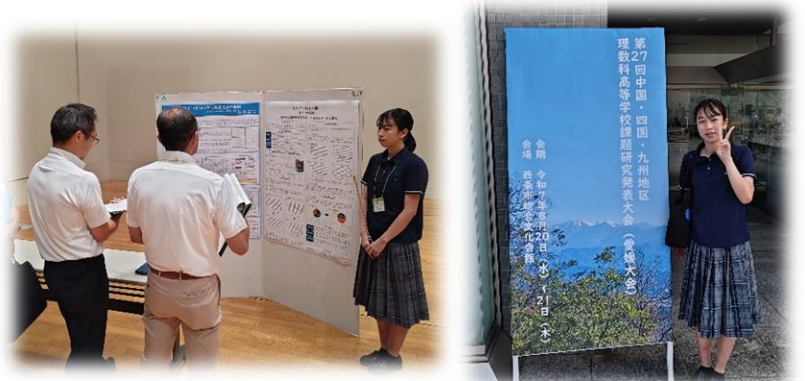


2日間長崎大学の水産学部で、物理、化学、生物の分野に分かれて研修をしました。物理班は、Kenoviaという動画解析ソフトや Excel を使って魚の動きを分析しました。化学班はフグ毒の実験で種類によって毒が違ったり TTX（テトロドトキシン）の濃さが個体ごとに違うことを学びました。生物班は菌の生態などを詳しく調べ、ミクロの世界も面白いと思いました。魚病細菌の検査の実習で、細菌の DNA を抽出し可視化したことが特に印象残っています。

中国・四国・九州地区大会出場(3年)

長崎県の代表として、愛媛県で開催された 第27回 中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会のポスター発表部門に「カルボン酸との戦い～臭いの拡散～」で文理探究科3年の新立さんが出場しました。

最初は緊張しましたが、何度も発表していくうちに、これまで準備してきた成果を発揮することができました。また、先生方や審査員の方から質問を受けた時にも、実験内容をしっかり説明することができました。先生方が研究内容に興味をもって沢山話しかけてくださいました。これまで探究活動を頑張ってきてよかったです。



10月 中間発表(2年)



発表は5分という短い時間で説明したい部分を全部は言えませんでした。しかし、質問の時にあらかじめ予想していたことを聞かれ答えられました。他の班の発表でも常に質問を考えながら聞きました。手を挙げて質問をするのは緊張したけど疑問に思ったことを聞けて良かったです。大学の藤原先生の講評では今後探究を良くしていくためのアドバイスをいただき、今後生かしたいです。

干潟観察会(1, 2年)

平戸市内の干潟を訪れ、させぼパールシー株式会社の協力を得て観察会を実施しました。



潮の満ち引きが生み出す生き物たちの命のつながりを感じました。潮の満ち引きによって海流が生まれ、植物の種子を運んだり今回見た干潟を作り出します。そして干潟は生物の産卵の場や住み家となります。実際にカニやヤドカリ、エビなどを見て、何もないように見えた干潟が生物の営みを生み出す素晴らしい場所だと感じました。

佐志岳自然観察会(2年)



平戸の豊かな自然を肌で感じる素晴らしい体験ができました。イトラッキョウやチョウセンノギクなどの植物が生息していて、これらが平戸の特徴的な自然環境のもと育まれていることを知りました。野焼きなど地域の方々の手によって貴重な自然を守られていて、未来に引き継いでいく責任を感じました。

11月 究発表会(1年)

平戸市内にあるKTX株式会社や平戸旨かもん組合など長崎県内の企業の協力を得ながら、平戸の物産品をもっと広めようと様々な商品を考え、6つの班がそれぞれに考案した商品をプレゼンしました。価格設定や商品名、味付けなどより具体的な商品が出来上がってきています。



2月 企業研修(1・2年)

2/25(水)NEXT長崎人材育成事業を活用して、長崎市にあるスタジアムシティー、Green Ship、シーエーシーの3つの企業の方々のご協力を得て、研修を実施します。

3月 探究本発表(2年)

3/6(金)2年生が1年間取り組んできた探究内容をポスターを作成して発表します。また、11月に発表した1年生の6班のうち代表班1班も発表します。会場は文化センター大ホールで時間は13:40~16:10です。

2月の企業研修、3月の探究本発表の様子は学校のHPに紹介します。ぜひご覧ください。

猶興館HP

